

三井E&S造船、6.4万トン型ばら積み船引渡し

Edited By LogisticsToday On 2020/05/18

三井E&S造船は18日、千葉工場（千葉県市原市）で建造していた6万4000重量トン型ばら積み貨物運搬船「シーディーフェルバ」が完成し、同工場で引き渡したことを発表した。



同船はSOx（硫黄酸化物）排出規制に適合するためのスクラバーを搭載しているほか、船首・船尾には新開発の省エネ船型を採用し、平水中の抵抗推進特性と波浪中の耐航性や操縦性に配慮。

また、従来のパナマックス幅で載貨重量6万4000トン以上を確保し、従来型の「56BC」から大型化しつつも、港湾や航路の汎用性を維持した。

「シーディーフェルバ」の概要

全長：199.99メートル

幅：32.25メートル

深さ：19.45メートル

総トン数：3万6463

載貨重量：6万4049メトリックトン

主機関：三井-MAN-B&W 6S50ME-C9.3 ディーゼル機関×1基

航海速力：14.5ノット（常用出力）

最大搭載人員：25人